

同意した人事案件

- 教育委員会教育長 いいの まさき 飯野 眞幸 氏
- 教育委員会委員 しおの ゆき 塩野 有希 氏
- 固定資産評価審査委員会委員 さかもと まさき 坂本 正樹 氏
- 人権擁護委員候補者 やまぐち みちよ 山口 美千世 氏
- 人権擁護委員候補者 ふじさわ あきこ 藤澤 秋子 氏
- 人権擁護委員候補者 かみわだ しょうご 上和田 照吾 氏

請願の審議結果

提出された下記の請願を審議した結果、賛成少数で不採択となりました。

- 日本政府に核兵器禁止条約への賛同と推進を求める意見書の採択について
- 消費税インボイス制度の実施中止の意見書の採択について

行政視察報告

所管する事務に関する調査のため、他の自治体等の先進的な取り組みについて行政視察を行いました。

総務常任委員会 7月20日～21日

東京都台東区

○デジタル行政窓口、RPAの導入推進について

岐阜県岐阜市

○新庁舎について

教育福祉常任委員会 7月20日～21日

東京都江東区

○オンラインでの高齢者サークル活動支援事業について

高知県高知市

○こうち笑顔マイレージ（ボランティア制度）について

市民経済常任委員会 7月27日～28日

東京都大田区

○大田区の新産業創造・発信拠点「HANEDA×PiO」について

福岡県北九州市

○北九州市グリーン成長戦略について

建設水道常任委員会 7月28日～29日

東京都豊島区

○としまキッズパークについて

愛知県岡崎市

○QRUWA戦略－乙川リバーフロント地区公民連携まちづくり基本計画－について

委員会審査

各常任委員会および各特別委員会において、付託された議案などを審査しました。
質疑・答弁の一部を掲載します。

総務常任委員会

質疑 ふるさと応援基金寄附金が当初予算額から大幅に増額した理由は。

答弁 ふるさと納税の制度が浸透したことや、コロナ禍で在宅の時間が増えて制度に目を向ける人が増えたこと、また返礼品の種類が増えたことなどが考えられる。

質疑 新町防災アリーナの開館後の市民の反応は。

答弁 毎日空きがないほどの予約があり、大勢の人に利用されている。利用者からは、設備が充実していて快適に利用できる、災害時に避難する施設が近くにあり安心できるといった声がある。



新町防災アリーナ

教育福祉常任委員会

質疑 令和3年度の託児施設の利用状況は。

答弁 託児ルームかしの木の使用料は、令和2年度から約300万円増加し、利用者は2,219人の増加となった。予約の受け付け方法の見直しや、利用料の上限を設けるなど、より利用しやすい施設となるよう、運営方法の改善を図っている。

質疑 おとしよりぐるりんタクシー運行の成果は。

答弁 支所地域と観音山丘陵の各ルートを含めた令和3年度の延べ利用者数は、1万9,861人である。利用者からは喜びの声だけでなく、ルート延長の要望や1周する時間が長いといった指摘もあり、令和4年4月に支所地域のルートを変更した。

市民経済常任委員会

質疑 女性元気サポート事業の概要と実績は。

答弁 コロナ禍で孤独や孤立等の不安を抱える女性を支援し、社会とのつながりの回復を図る事業である。令和3年7月から社会福祉協議会に業務委託を開始し、相談が163件あり、生理用品の提供を364件行った。

質疑 シンガポールへの農産物の輸出の実績は。

答弁 トマトやキュウリ、キャベツ、梨、プラムなどの農産物を約8,900キログラム、また加工品として、ゆずみそやこんにゃく、梅ジュースを約100キログラム輸出した。



シンガポールで農産物を販売

建設水道常任委員会

質疑 豊岡新駅（仮称）および豊岡経大大橋（仮称）の各調査委託料の実績は。

答弁 豊岡新駅（仮称）については、国との国道18号接続協議に必要な資料の作成や、駅前広場を含めたアクセス道路の路線測量を行った。また豊岡経大大橋（仮称）については、橋の支持地盤のボーリング調査や、橋へのアクセス道路と交差する国道406号の交差点予備設計を実施した。

質疑 公園ユニバーサルデザイン化工事の内容は。

答弁 倉賀野町の雁見児童公園において、出入り口の段差や公園内の樹木の根上がりの解消のほか、車いす利用者も使用できる水飲みの設置を行った。

環境施設建設特別委員会

質疑 高浜クリーンセンター建設事業の建設等工事費が当初予算額から8億円の減額となった理由は。

答弁 入札の結果減額となったほか、新型コロナウイルスの感染拡大や国内外における経済状況等の影響により、工事の進捗に遅れが生じ、事業費を令和4年度に繰り越したためである。

都市集客施設整備特別委員会

質疑 労使会館建設事業の地質調査委託料の内容は。

答弁 労使会館敷地内の4カ所でボーリング調査を実施したものであり、地盤の情報を設計や施工に反映させて整備を進めていく。なお、この地質調査は、地盤の強度を調査するためのものであり、土壌汚染の調査は含まれていない。



●ボーリング調査 | 穴を掘って地盤の状況や地層境界の深さなどを調べること。

